

講座 9	対立と分断の時代のメディアとジャーナリズムを考える			
	【定員】 70名		【受講料(登録コース別)】 単期コース 20,080円 、 1年コース 15,060円 、 2年コース 13,380円	
	【歴史・文学・人間学】映像・メディア 講座 【時 間】 毎回15時00分～16時30分（計12回）			
概要	「トランプ現象」と呼ばれた2016年の米大統領選挙以来、民主主義諸国では対立と分断の進展が深刻化しています。そしてこうした状況の背景に新しいデジタルメディア環境の発展があるのではないかと考えられています。実際に日本でも政治の空間がインターネットへと移行し、それと連動する形で従来型のジャーナリズム（新聞、雑誌、テレビなど）が衰退しつつあります。この講座ではこうしたメディアをめぐる現代の状況を読みとくためのキーワードや視点を紹介し、解説します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/ 9(金)	川崎市 生涯学習 プラザ	「ポスト2016」の問題系 ― メディア政治はどのように変化したか	慶應義塾大学教授 山腰 修三
2	10/16(金)		ジャーナリズムとは何か ― ニュースの生産過程から考える	早稲田大学准教授 佐藤 信吾
3	10/23(金)		感情の政治とメディアの役割 ― 現代の民主主義は「感情」で動く？	日本大学准教授 三谷 文栄
4	10/30(金)		ニュース離れはなぜ生じたか ― ジャーナリズムの現代的危機の諸相	慶應義塾大学教授 山腰 修三
5	11/27(金)		加速化する社会の分断 ― 「プラットフォーム資本主義」という視座からの解説	早稲田大学准教授 佐藤 信吾
6	12/ 4(金)		「ポスト真実」とポピュリズム ― その歴史的展開について	慶應義塾大学教授 山腰 修三
7	12/11(金)		「メディアイベント」論 ― 社会の統合と分断を理解するための新たな視角	日本大学准教授 三谷 文栄
8	12/18(金)		情報洪水とスローメディア ― 加速するメディア環境の中で **遠隔講義	実践女子大学専任講師 田中 瑛
9	1/ 8(金)		中国のメディア政治 ― 情報統制と宣伝の巧妙化	金沢大学准教授 工藤 文
10	1/15(金)		アメリカのメディア政治 ― 陰謀論政治の活性化	慶應義塾大学教授 烏谷 昌幸
11	1/22(金)		戦争の記憶をめぐる保存と実践 ― デジタルアーカイブの可能性	早稲田大学准教授 佐藤 信吾
12	1/29(金)		「声なき声」を拾い上げるために ― ジャーナリズムの可能性	実践女子大学専任講師 田中 瑛
連絡 事項	※「**遠隔講義」では講師は会場外からオンラインで講義し、会場で受講の皆さまにはスクリーンで受講いただきます。			